

若桐寮だより 1月号

1月30日

新年を迎えて若桐寮生は目標を新たに益々頑張っています。金山町は大吹雪や大雪ですが、逆にこれが彼らの心を逞しくしてくれています。

3年生は1月末に最後の定期試験もあるので寮長、副寮長を2年生、1年生に引き継ぎました。点呼や食事当番、雪掻き当番も1、2年生が中心となってやっています。

新しい寮長の言葉を紹介します。

「若桐寮での生活3年目、楽しいことや辛いこともありましたが、常に思う言葉は「感謝」です。僕たちを支えてくださる金山町の方々への「感謝」、いつも心配してくれている親への「感謝」などです。僕だけが思っていることではなく、寮生みんなが心に留めてある言葉です。思春期で、素直に伝えるのは難しいですが、この場をおかりして感謝申し上げ、今後はさらに支えてくださる皆様へ少しでも恩返しができるように努力していきます。」

そんな中、最近嬉しいことがありました。

ある3年生が放課後吹雪の中を雪まみれになって一人で帰って来ました。髪の毛もコートも雪だらけで、さぞ寒かっただろうと思っていたら、玄関先に荷物を置いてすぐにスコップを持ち出し、階段から下の道路まで雪かきをしてくれました。約20分間一人で頭から雪まみれになりながら黙々とやってくれました。感動しました。それを見た他の生徒も自主的にやってくれるようになりました。こういう生徒が育ってくれることが若桐寮の存在価値で、大きな教育成果であります。1年生の女子生徒達がそれを見て、先輩は偉いと感心していましたが、卒業を前にして先輩としての無言の後輩への教育になったと思います。いつもおとなしく口数が少なく余計なことは言わない生徒でしたが黙々と雪かきをするその姿は輝いていました。

「ありがとう、ご苦労様！」と私が声をかけたら、にっこりと微笑みながら黙って頷いていました。

「人生の最も苦しい、いやな、つらい、損な場面を真っ先に微笑みを以って担当せよ！」これは私が43年間勤務した玉川学園のモットーですが、自然教育村である奥会津の大自然がこのように立派な吹雪にも負けない生徒達を育てています。夕方の寒く暗い中で、この生徒の顔は光輝いていました。

寮の中は暖房が完備しているので、快適です。今のところ風邪ひきもいなくて、皆元気に過ごしています。9時からの一斉学習も皆が集中して取り組んでいます。

3年生はもうすぐそれぞれの思いを胸に抱いて羽ばたいて卒業していきます。嬉しいことも辛いこともあったでしょう。それぞれの思い出が詰まった部屋を2月いっぱい綺麗に掃除をして新年度の後輩たちに引き渡してくれます。

29年度

2月 若桐寮 予定

日 曜	学 校 行 事	寮 行 事
1 木	I期選抜テスト 生徒休業日	
2 金	生徒休業日	
3 土		
4 日		
5 月		寮の掃除、お風呂掃除 21時～
6 火		
7 水		
8 木		
9 金	漢字検定	
10 土	公務員、センター早期対策模試	
11 日		
12 月		寮の掃除、お風呂掃除 21時～
13 火		
14 水		
15 木	学年末考査	
16 金	学年末考査	
17 土		
18 日		雪まつり、言いたいこと発表会
19 月	学年末考査	寮の掃除、お風呂掃除 21時～
20 火	学年末考査	
21 水		
22 木	商業検定試験	
23 金		
24 土		
25 日		
26 月		寮の掃除、お風呂掃除 21時～
27 火		
28 水	表彰式、卒業証書授与式予行	3年生お別れ会

指導員 栗田和悦